

○群馬イノベーションアワード（GIA）の2次審査に出場しました。

10月7日（土）に実施された、群馬イノベーションアワードの2次審査に1年生の2名が、出場し、「ノートのSNS化」に関するビジネスアイデアのプレゼンテーションを披露してきました。結果は残念ながら、ファイナルへの出場には届きませんでした。1年生ながら、堂々と発表してきました。



応募総数485件の中から、書類審査を通過した高校生以下の部門22チームが、ファイナルステージに向けてプレゼンテーションを行いました。結果、4チームがファイナルステージに出場しました。ファイナルステージは10月28日（土）にグリーンドーム前橋で開催されます。

今回のGIAは、伊勢崎高校にとって、貴重な経験となりました。2次審査に出場できたことで、ファイナルステージに向けて必要なことを考えるきっかけができました。来年度は、複数のチームが出場し、ファイナルステージを目指し、グランプリを獲得できればよいと思います。

出場生徒の感想

GIAに挑戦して、色々なことが学びました。機械の使い方もうまくなったし、考える視野も広がりました。二次審査のとき何が足りなかったのか少し気になるけど、また来年挑戦できたらいいと思いました。

今回のGIAではとても良い経験になりました。多くのことが学べることでとても楽しかったです。また来年も挑戦したいです。

○有志による探究活動の募集について

近年、GIAを初め、様々なコンテストが開催されるようになりました。募集が開始されてから準備していたのでは、間に合いません。来年度のことを見据えて、今から準備しませんか。探究活動の実績が、進学につながることも多々あります。探究に興味がある人や探究活動を始めたい人は、以下のフォームに必要事項を入力して、送信してください。



応募フォーム「<https://forms.gle/fAsQuwjkCmZ3M43X7>」

また、Classi「よし、探究だ!」でも、探究活動の情報を配信していきます。興味がある人は、積極的に参加してください。気になる活動があれば、内容を聞きに来てください。伊勢崎高校は、探究する生徒を積極的に応援していきます。

○1年のiTanQ（蒼穹Ⅰ）について

テキストを使用しながら、探究のスキルを身に付ける活動が続いています。実践的な活動を入れながら、探究について学んでいることと思います。

授業を通じて、「もっと探究したい!」と感じている人は、自ら進んでどんどん探究を進めてください。特に、困りごとの解決のために、新たなビジネスプランを考えたい人は、そのアイデアをコンテストなどに応募してみてもいいかもしれません。

○2年のiTanQ（蒼穹Ⅱ）について

9月26日（火）に伊勢崎市役所の職員の方を招いての特別授業を行いました。伊勢崎市の現状と課題について、熱心に講義していただきました。講師の方には、3月21日（木）に実施される成果発表会に招待したいと考えています。



10月からは、本格的に地域課題の解決に向けた探究活動が始まります。グループで協力し、住みよい街づくりのために何ができるのかを考えてください。そして、「ビジネスプラン」や「行政への提案」という形で、まとめてください。

○3年のiTanQ（蒼穹Ⅲ）について

2学期の探究活動では、自衛隊の看護師の方や大学の先生をお招きし、貴重なお話を聞かせていただきました。今後も進路探究ということで、様々な方にお越しいただき、話をさせていただきたいと思います。ぜひ、幅広い教養を身に付け、今後の人生にいかしてください。

○探究活動の案内

◇「第2回iTanQ“X”(クロス)」【受付中】

他の学校の高校生と日本の未来について語り合ってみませんか?

- 1 開催日程 令和5年12月23日（土）10:00～16:00（9:30受付開始）
- 2 開催場所 伊勢崎高校多目的室3階等
- 3 内容 ①上野千鶴子先生（東京大学大学院名誉教授）による基調講演

テーマ「情報生産者になる」

『研究とは、まだ誰も解いたことのない問いを立て、証拠を集め、論理を組み立てて、答えを示し、相手を説得するプロセスです。そのためには、すでにある情報だけに頼ってはいじゅうぶんではなく、自らが新しい情報の生産者にならなければなりません。』

《中略》

何よりも情報生産者になることは、情報消費者になることよりも、何倍楽しいし、やりがいも手応えもあります。一度味わったらやみつきになる…それが研究という極道です。』（「情報生産者になる」はじめにより抜粋）

②パネルディスカッション&ワークショップ

- 4 対象 1～3年生の希望者
- 5 募集期間 10月1日（日）～11月30日（木）

応募フォーム「<https://forms.gle/agMkaLYg5dxeTuWT7>」

- 6 推薦図書 「情報生産者になる」著者：上野千鶴子（ちくま新書）

※情報生産者とは、研究し、価値ある情報を生産し、発信する人のことです。逆に他の人が作った情報を利用する人を情報消費者といいます。

